

令和4年度 経営協議会（第4回）議事要録

日 時 令和4年11月22日（火）13時30分から13時45分

場 所 3号館2階第1会議室

出席者 【委 員】 森迫学長（議長）

位高委員、奥村委員、京藤委員、鈴木委員、西本委員、
小野委員、吉本委員、小酒井委員、乾委員、日高委員（Web出席）、
寶珍委員、増田委員、亀井委員（Web出席）

【陪席者】 佐藤監事（Web出席）、滝口監事、総務企画課長、
人事労務課長、会計課長、施設環境安全課長、

議事に先立ち、令和4年度第3回の議事要録について確認が行われた。

議題1. 令和4年度人事院勧告に基づく国立大学法人京都工芸繊維大学 職員給与規則等の一部改正について

小酒井人事労務担当理事から、令和4年度人事院勧告に基づく国立大学法人京都工芸繊維大学職員給与規則等の一部改正について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題2. 役員期末手当について

小酒井人事労務担当理事から、役員期末手当について議案書に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項1. 令和4年度予算伝達について（追加）

小酒井財務担当理事から議案書に基づき報告があった。

本件に関し、委員より以下の意見があった。

・「研究教育に係る光熱費高騰分」とあるが、分離できるのか。

→令和3年度決算における損益計算書費用勘定によって、按分している。

・C02削減、脱炭素のためにクリーンエネルギーを購入することは、光熱費の高騰につながるが、どのように対応しているのか。

→一般電気事業者でない業者も含めて入札を行い、再生可能エネルギー導入状況及びC02排出係数換算率を活用している。

今年度も入札を行ったが、応札者が無く、一般電気事業者を選択することとなった。

もともとはクリーンエネルギーの導入を進める検討も行ったが、運営費交付金の増加が見込めない中では、難しいと判断した。京都市へ届け出た削減目標を守るよう努めている。研究自体も、グリーンを意識して取り組んでいる。

・照明のLED化は進めているのか。来年度からなのか

→これから進める予定である。現時点で35%程度であり、今回の運営費交付金の追加予算、目的積立金を使用する予定である。全てLED化を進めると、年間4,500万円の予算枠増加が見込める。講義棟の使用状況、工事の工程の都合もあるが、できる限り早く進めていきたい。

報告事項 2. その他

配付資料

- 資料 1 令和 4 年度第 3 回経営協議会議事録（案）
- 資料 2 令和 4 年度人事院勧告に基づく国立大学法人京都工芸繊維大学
職員給与規則等の一部改正について（案）
- 資料 3 役員期末手当について（案）
- 資料 4 令和 4 年度予算伝達について（追加）

参考資料

令和 4 年度経営協議会スケジュール等

別添資料

「新聞記事」